

北陸

第90期中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日



北陸電力株式会社

第90期中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

目次

- 3 株主の皆さまへ
- 4 志賀原子力発電所の津波等に対する
「安全強化策」の進捗状況についてお知らせいたします。
- 6 電力の安定供給に向けて
- 7 北陸電力グループの紹介
- 8 事業の概況
- 10 連結財務諸表
- 12 ハレの日を彩なす～北陸の祭り～ 伏木曳山祭
- 14 株主information

表紙

ハレの日を彩なす～北陸の祭り～

伏木曳山祭

江戸時代、北前船の廻船問屋で栄えた富山県高岡市伏木では、毎年5月15日に春のお祭り「伏木曳山祭」が開催されています。まるでけんかをしているかのように各町の山車をぶつけ合う、「かっちゃん」が最大の見もの。町の男たちは1年のうちこの1日に命を燃やし、その誇りを継承していくのです。



画：寺口 康信

株主の皆さんへ

株主の皆さんには、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申しあげます。

原子力発電所の運転停止が継続するなか、今夏は、火力発電所のトラブルなどにより、一時的に予備率が低下する局面もありましたが、供給力の確保に努めるとともに、お客さまに節電にご協力いただいたことにより、安定した電力を届けすることができました。

今冬につきましても、供給予備率は電力供給に支障のない水準を確保できる見通しとなっております。しかしながら、大型電源のトラブルなどの不確定要素を考慮すると電力需給は厳しい状況が予想されますので、引き続き需給両面から適切な対策を講じてまいります。

志賀原子力発電所につきましては、敷地内シームに関して、周辺断層の更なる詳細な調査を実施しているところであり、12月下旬に最終報告を提出する予定です。

当社といたしましては、国の新規制基準に確実に適合するよう、安全対策に鋭意取り組んでいるところであり、志賀原子力発電所の早期再稼働に向け、世界最高水準の安全性を目指して不断の努力を重ねてまいります。

現在、電気事業法改正の動きなど電気事業を取り巻く経営環境は大きな転換期を迎えております。当社グループは、引き続き、低廉で良質なエネルギーを安定的にお届けするという社会的使命を果たし、皆さまから「信頼され選択される企業」を目指してまいります。

中間配当につきましては、非常に厳しい収支状況ではあるものの、安定配当継続の方針に基づき、1株につき25円とさせていただきました。

株主の皆さんにおかれましては、当社グループに対し、なお一層のご理解とご支援を賜わりますようお願い申しあげます。

平成25年11月



取締役会長 永原 功 取締役社長 久和 達

志賀原子力発電所の津波等に対する「安全強化策」の進捗状況に

当社は、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、緊急時の「電源確保」、「冷却機能の確保」、「発電所敷地内への浸水防止」等の観点から、志賀原子力発電所における津波等に対する安全強化策を着実に実施しております。そのうちの「緊急安全対策」を平成23年4月までに完了し、また、一層の信頼性向上を図るために「更なる対策」につきましては、平成25年9月までに一部を除いてほぼ完了いたしました。

引き続き、新規制基準等も踏まえた安全性向上のための施策の検討を進めるとともに、今後も新たな知見が得られた場合は、迅速かつ的確に対策を追加することにより、志賀原子力発電所の一層の安全確保に取り組んでまいります。

安全強化策の進捗状況（平成25年9月末現在）

安全強化策		進捗状況
緊急安全対策		完了
更なる対策		
電源確保	非常用電源(大容量)の配備	① 完了
	外部電源早期復旧による所内電源の確保	完了
	外部電源の信頼性確保 ●すべての送電線の各号機への接続 ●免震金具の取り付け	② 完了
冷却機能確保	浸水した原子炉補機冷却系ポンプの機能回復手段の整備	完了
	水源の多様化 ●大坪川ダム水取水用の水中ポンプ、ホース等の配備等	③ 完了
	●復水貯蔵タンク、トレーニングの耐震信頼性向上	一部完了
	●耐震性貯水槽の追加設置	完了
	原子炉補機冷却海水ポンプ代替品の配置	完了
	消防車追加配備(計3台)	完了
	ディーゼル駆動消火ポンプ燃料タンク大容量化	完了
	配管等の耐震裕度向上	完了
	格納容器ベント専用電源の設置	完了
	防災施設・資機材等の強化 ●緊急時対策棟の設置	④ 運用開始*
その他強化策	●防災資機材専用倉庫の設置	完了
	●モニタリング設備の強化	完了
	●個人線量計の追加配備、高線量対応防護服の配備	完了
	●構内主要アクセス道路の補強	完了
	●復旧作業用クレーン車の常設	完了
浸水対策等の 内部対策等	がれき撤去用重機の配備	完了
	原子炉建屋水素排出設備の設置 ●プローアウトパネル開放機材設置	⑤ 完了
	●水素検知器設置	完了
防潮堤の構築	緊急時協力会社集合棟の設置	準備中
	防潮堤の構築	⑥ 完了
	取水槽及び放水槽廻りへの防潮壁の設置	完了
	浸水対策の強化(扉の水密化、配管貫通部の水密性強化)	完了

* 遮へい機能の強化について検討中

電源確保

①



非常用電源車(大容量)の配備: 平成25年3月完了

冷却機能確保

③



大坪川ダム水取水用の
水中ポンプ、ホース等の
配備等
: 平成23年9月完了

大坪川ダムからの
取水訓練の様子→

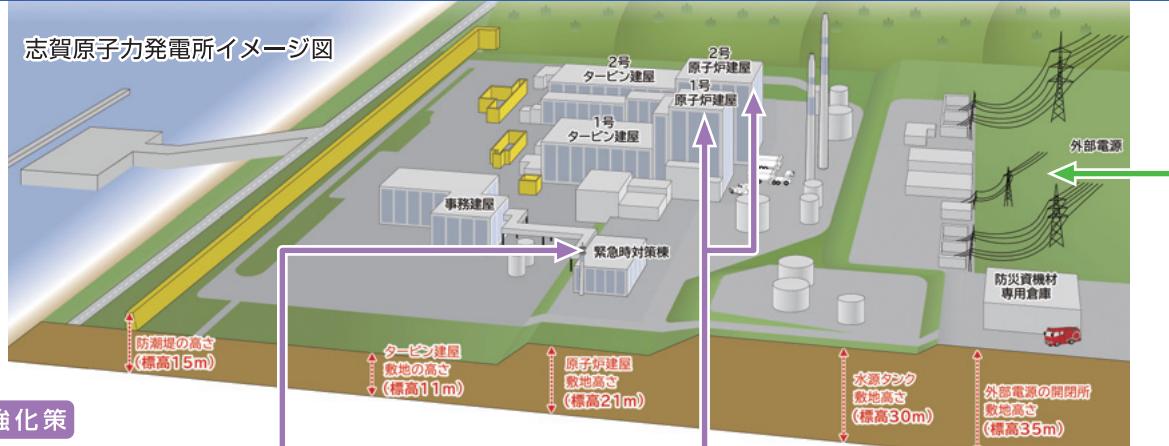
浸水防止

⑥



防潮堤の構築: 平成24年9月完了

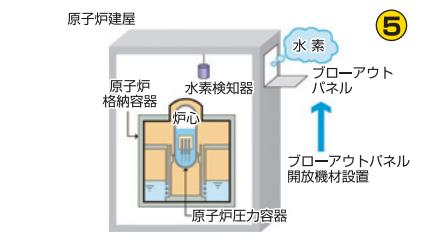
についてお知らせいたします。



その他強化策



緊急時対策棟の設置(免震構造, 独立電源, 除染施設等)
:平成25年9月運用開始



水素検知器の設置: 平成25年8月完了

電源確保

②

すべての送電線(志賀中能登線・志賀原子力線・赤住線)から1・2号機へ直接電気を供給できるようにしました。
:平成25年8月完了

緊急時に的確な対応ができるよう、継続して訓練に取り組んでいます

大規模災害により、電源や冷却機能が喪失した場合などを想定し、日中や夜間、さらに厳冬期などにも、緊急時に的確な対応ができるよう、さまざまな訓練を続けています。これまでに各種訓練を累計977回(平成23年4月～平成25年9月末)行い、安全強化策の実効性を高めています。

また、1号機運転訓練シミュレータの機能を拡張(平成25年10月)し、運転員の技術レベルの向上に努めています。



消防車による送水訓練



1号機シミュレータによる訓練

志賀原子力発電所敷地内シーム追加調査計画の変更について

平成24年7月18日、原子力安全・保安院からの「敷地内破碎帯の追加調査計画の策定について(指示)」に基づき、7月25日に「追加調査計画」を報告、8月10日より調査を実施し、12月7日および平成25年6月6日に調査結果を原子力規制委員会に報告いたしました。

一方、平成25年6月25日に提出した追加調査計画に基づき、敷地内シームと周辺断層の関連性に関する調査および発電所敷地周辺の小規模な断層の活動性に関する資料のとりまとめを進めておりましたが、更なる詳細な調査を実施するため、9月26日に最終報告時期を9月末から12月下旬へ変更した計画を原子力規制委員会に報告いたしました。

今後も引き続き、徹底した調査に取り組み、志賀原子力発電所の安全性・信頼性の更なる向上に努めてまいります。

電力の安定供給に向けて

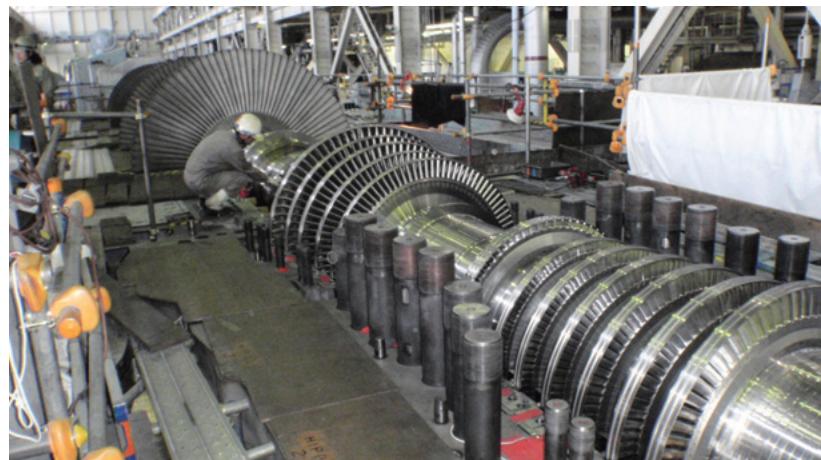
火力発電所の定期点検時期の調整

志賀原子力発電所の停止が継続し、厳しい電力需給が続くなか、火力発電所では、定期点検や補修時期の調整により、供給力の確保に努めています。

設備の状況や作業員の確保などを勘案しながら、電気事業法で定められた「ボイラー・タービンの定期事業者検査時期変更申請」を最大限活用し、定期点検の時期を**電力消費が多い夏・冬から比較的少なくなる春・秋へ変更**しています。

発電所	ユニット名	出力	2011年度		2012年度				2013年度		
			冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	
富山火力	4号機	25万kW						○	→	●	
富山新港火力	1号機	50万kW	○	→	●						
福井火力	三国1号機	25万kW		●	←	○					
敦賀火力	1号機	50万kW						○	→	●	
	2号機	70万kW	○	→	●						
七尾大田火力	1号機	50万kW		ボイラー 設備点検				○	→	●	
	2号機	70万kW		○	→	●					

○：当初予定していた点検時期　●：変更した点検時期



↑七尾大田火力2号機 タービン主要弁弁箱点検

←敦賀火力1号機 タービン本体点検

北陸電力グループの紹介

日本海コンクリート工業株式会社

快適な都市環境と生活空間のために

日本海コンクリート工業は、快適な都市環境と生活空間の未来を創造する技術の発展を追求します

〒931-8588 富山県富山市田畠750番地
TEL (076)437-8121 FAX (076)438-6450
ホームページ <http://www.nkcon.co.jp>

会社概要

設立：昭和28年2月4日
資本金：1億5千万円
代表者：取締役社長 本山 信男
従業員：70名(平成25年9月末)

主な事業内容

◆コンクリートポール製造・販売

当社のコンクリートポールは配電線・通信線用として北陸電力やNTTで長きにわたりご使用いただいている。その他、防球ネット用、携帯基地局用、防災無線局用、照明用など幅広い用途にご利用いただいております。

また、神社の旗さおなどにも使われる「細径ポール」や景観にも調和するカラーポールなどもご用意しております。



↑細径カラーポール
←防球ネット柱

◆コンクリートポールのリサイクル

使用しなくなった古いコンクリートポールを破碎し、発生したコンクリート屑は、循環型社会形成の観点から、路盤材などとして再利用しています。



廃品ポール破碎作業

◆コンクリートパイル製造・販売および施工

さまざまな建築環境に求められる施工条件に対応した各種コンクリートパイル製品および杭打ち工法により、現場ニーズにお応えしております。近年は低騒音・低振動で隣接地盤に影響を及ぼさない工法をご提案しております。



コンクリートパイル杭打ち工事

◆コンクリートポールの劣化診断調査

老朽化したコンクリートポールの折損を未然に防止する対策として、「コンクリート診断士」の資格を持った社員による劣化診断調査を実施しています。近年、企業活動における信頼性や子供たちの教育環境の安全性が求められているなかで、工場の構内柱やグランドの防球ネット柱など、お客様設備の診断をもとに建替えの提案を行っております。

事業の概況

(単位：億kWh, 億円)

	平成25年度上半期 (A)	平成24年度上半期 (B)	増 減 (A) - (B)	対 比 (A) / (B)
販 売 電 力 量	134.4	136.2	△1.8	98.7%
売上高（営業収益）	2,513	2,495	18	100.7%
営 業 利 益	224	236	△12	94.9%
経 常 利 益	172	187	△14	92.1%
四 半 期 純 利 益	87	121	△34	71.7%

(注) 億円未満切捨

収支の状況

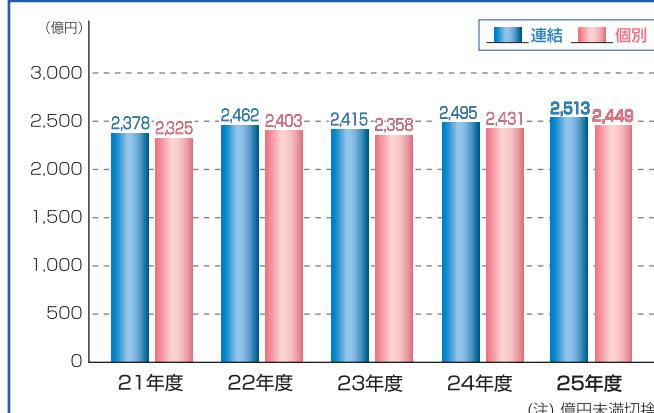
当上半期の我が国経済は、生産や雇用情勢に改善傾向がみられるなど、着実に持ち直しています。北陸地域においても同様の状況で推移しました。

このような経済情勢のもと、当上半期の連結収支につきましては、収益面では、電気事業において販売電力量は減少したものの、再生可能エネルギー発電促進賦課金・交付金の増加などから、売上高（営業収益）は2,513億円となり、これに営業外収益を加えた経常収益は、前年同期に比べ19億円増の2,531億円となりました。

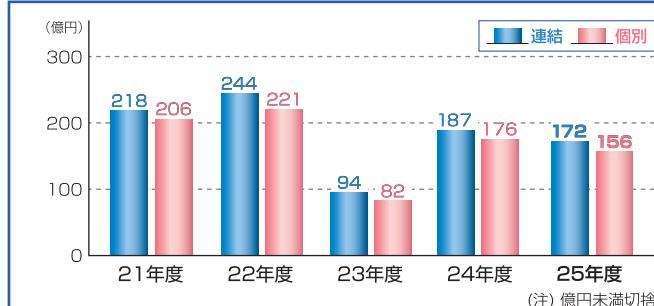
一方、費用面では、電気事業において豊水により水力発電量は増加したものの、石炭火力発電所の定期点検台数が前年に比べ多かったことにより、石油火力の発電量が増加し、燃料費が増加したことなどから、経常費用は前年同期に比べ34億円増の2,358億円となりました。

以上により、当上半期の経常利益は172億円、純利益は87億円となりました。

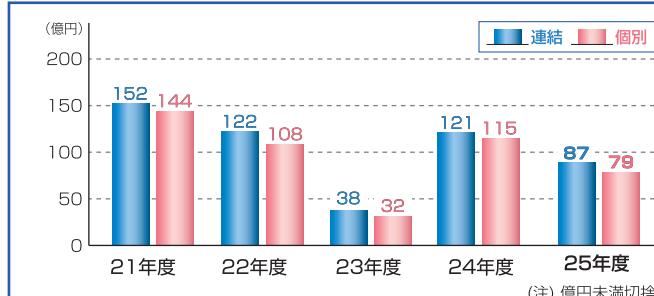
■売上高の推移(上半期)



■経常利益の推移(上半期)



■純利益の推移(上半期)



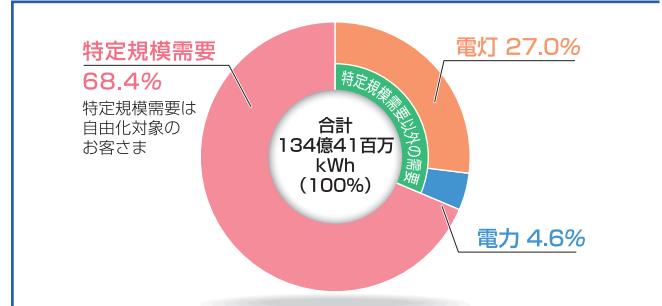
販売の状況

当上半期の販売電力量につきましては、電灯および業務用は、8～9月の気温が前年を下回ったことによる冷房需要の減少などから、それぞれ、前年同期を下回りました。

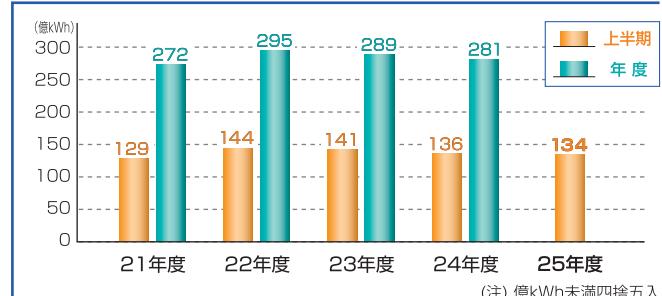
産業用その他は、大口電力が低調に推移したことなどから、前年同期を下回りました。

この結果、販売電力量は134億41百万キロワット時（うち特定規模需要92億キロワット時）となり、前年同期に比べ、1.3%の減少となりました。

■当上半期販売電力量の構成比



■販売電力量の推移



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:億円)

資産の部		負債及び純資産の部			
科目	当第2四半期 連結会計期間 (平成25年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	科目		
固定資産	11,792	11,836	固定負債	9,329	8,632
電気事業固定資産	8,878	8,947	社債	4,786	4,386
水力発電設備	1,109	1,138	長期借入金	3,203	2,888
汽力発電設備	1,144	1,114	流動負債	1,652	1,917
原子力発電設備	2,147	2,166	△以外に期限到来の固定負債	697	874
送電設備	1,695	1,725	短期借入金	166	158
変電設備	879	893	引当金	136	98
配電設備	1,510	1,517	負債合計	11,118	10,649
固定資産仮勘定	325	347			
核燃料	997	969	株主資本	3,285	3,250
投資その他の資産	1,308	1,280	資本金	1,176	1,176
流動資産	2,678	2,123	資本剰余金	339	339
現金及び預金	1,657	1,163	利益剰余金	1,801	1,766
受取手形及び売掛金	430	379	自己株式	△32	△32
たな卸資産	289	286	その他の包括利益累計額	67	60
合計	14,470	13,959	少数株主持分	0	—
			純資産合計	3,352	3,310
			合計	14,470	13,959

四半期連結損益計算書の要旨

(単位:億円)

費用の部		収益の部			
科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月 1日から) (平成25年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成24年4月 1日から) (平成24年9月30日まで)	科目		
営業費用	2,289	2,259	営業収益	2,513	2,495
電気事業営業費用	2,227	2,198	電気事業営業収益	2,437	2,419
その他事業営業費用	61	60	その他事業営業収益	76	75
営業利益	(224)	(236)	営業外収益	17	15
営業外費用	69	64	四半期経常収益合計	2,531	2,511
四半期経常費用合計	2,358	2,324			
四半期経常利益	172	187			
渴水準備金引当又は取崩し	37	△1			
税金等調整前四半期純利益	135	188			
法人税等	48	67			
四半期純利益	87	121			
(参考)四半期包括利益	94	110			

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:億円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月 1日から) (平成25年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成24年4月 1日から) (平成24年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	333	515
税金等調整前四半期純利益	135	188
減価償却費	354	377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△356	△340
財務活動によるキャッシュ・フロー	517	4
社債・借入金等の純増減額	569	56
自己株式の取得・売却	△0	△0
配当金の支払額	△52	△52
現金及び現金同等物の増加額	494	179
現金及び現金同等物の期首残高	1,163	927
現金及び現金同等物の四期末残高	1,657	1,106

連結子会社（11社）

- 日本海発電(株)
 - 北電情報システムサービス(株)
 - 北陸発電工事(株)
 - (株)北陸電力リビングサービス
 - 北電テクノサービス(株)
 - 北電パートナーサービス(株)
 - 日本海コンクリート工業(株)
 - 日本海環境サービス(株)
 - 北陸通信ネットワーク(株)
 - 北電技術コンサルタント(株)
 - 北電産業(株)
- (平成25年9月30日現在)

持分法適用会社（2社）

- 北陸電気工事(株)
 - (株)ケーブルテレビ富山
- (平成25年9月30日現在)



男たちは祭りへの想いを力の限り込める。
それを受け、山車は疾走する

ハレの日を彩なす
～北陸の祭り～

伏木曳山祭

昼は色鮮やかに巡行し、 夜は「かっちゃ」で地響きを轟かせる

伏木曳山祭、別名「けんか山」は、富山県高岡市伏木の港を護る神社のお祭りです。華やかな昼の顔と、豪快な夜の顔を持つこのお祭りをご紹介します。祭り全体を取り仕切る総々代が持つ提灯



伏木神社遷座をきっかけにつくられた山車

江戸時代、北前船の寄港地だった伏木は、廻船問屋で繁栄しました。伏木神社の春の祭礼である伏木曳山祭がいつから催されていたのかははっきりとしませんが、文化10(1813)年現在の地に神社を遷座した際にご神体を運んだ御輿が現在の山車の元になっていると言われています。

現在では、中町・上町・本町・賓路町・石坂町・湊町の計6基の山車があります。



海上安全と海岸を鎮護する伏木神社

受け継がれるもの

幻の1基を再建していく 十七軒町の山車

復元された寿老人

現在山車は6基ですが、実は幻の1基があります。それは明治の大火で焼失した十七軒町の山車で、その姿はスタンプにして受け継がれてきました。

山車にはそれぞれ七福神が祭られます。平成16(2004)年に十七軒町の寿老人が復元され、めでたく七人の神様がそろいました。現在は、平成27(2015)年春の山車の完成に向けて活動中。スタンプを参考に、各町から材料を提供しあって、コツコツと進めています。

←往年の姿を現在に引き継ぐ、十七軒町の山車のスタンプ





花山車がそろった様は壯觀だ

二つの顔を披露し、最後は猛々しく燃え尽きる

伏木曳山祭最大の特徴は、昼と夜の顔が全く違うこと。高さ約8メートル・重さ約8トンもある山車は、昼は艶やかに彩られた「花山車」、夜は男だけの世界である「提灯山車」となります。

操り人形遣い、山車の動きを指示する拍子木方、舵取り方、曳き子、お囃子方など役割分担がなされていて、その全てを統括するのが男の憧れである総代です。通称「けんか山」と呼ばれるゆえんの、一対一で山車をぶつけ合う「かっちゃ」が、祭りのクライマックス。提灯の光が流れるほど勢いと地響きの大迫力に、数万人の観客が、拍手喝采するのです。



山車に結わえ付けた樺の木「付長手(つけながて)」の先端を、相手の山車に思い切りぶつける

伏木曳山祭実行委員会が、未来をつくっていく

平成14(2002)年、「伏木曳山祭を全国発信しよう」を理念に伏木曳山祭実行委員会が設立。女人禁制を改めて危険性の少ない昼の花山車に女性も参加できるようにするなど、様々な



改革を進めていきました。今後は北陸新幹線の開通も視野に入れ、市とも連携した活動をしていく予定です。伏木曳山祭はこれからもますます広がり、私たちを楽しませてくれることでしょう。

Interview 祭りを語る

神聖なる山車は町の誇り、想いを結実させる1日



山倉(やまぐら)に眠る山車は、少しづつ準備を整えられてその1日を待つ

「かっちゃ」は、本気で相手の山車を壊しにいきます。祭りが終わると、壊れている箇所を1年間かけて自分たちで全て修繕。そのような活動を通して、祭りだけではなく先輩方から人間性も受け継げる、とてもいい環境だと自負しています。誰かがケガをしたら、その1年間がだいなしになる。警察の方からこんなに約束事を守るお祭りはないとわれますが、それだけ危険だからなんです。



伏木曳山祭実行委員会会長 塩谷 雄一さん

開催地 富山県高岡市伏木

開催日 毎年5月15日

お問い合わせ 高岡市役所 産業振興部 観光交流課

T E L:0766-20-1301

F A X:0766-20-1496

e-mail:kankou@city.takaoka.lg.jp



Ⓐ 単元未満株式(1~99株)を整理したい株主さまへ

単元未満株式(1~99株)は、証券市場での売買ができませんが、**単元未満株式の買取請求・買増請求制度**をご利用いただくことができます。当社では、これらの請求にかかる手数料を無料としておりますので、単元未満株式の整理に是非ご活用ください。

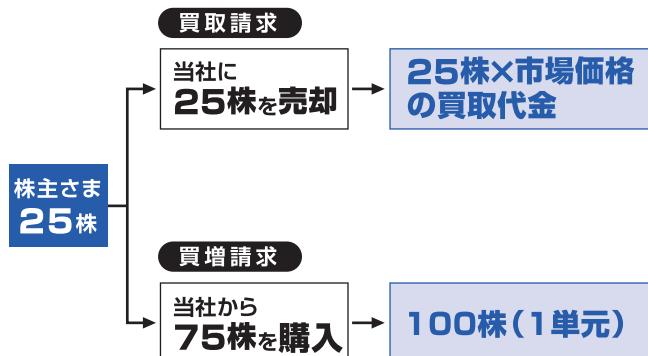
※ 証券会社の口座に単元未満株式をご所有の株主さまは、証券会社での手数料がかかる場合があります。

■単元未満株式の買取請求制度

ご所有の単元未満株式を処分したい株主さまに対して、当社が単元未満株式を買い取らせていただく制度。

■単元未満株式の買増請求制度

ご所有の単元未満株式を1単元(100株)にしたい株主さまに対して、当社から単元未満株式をお買い増しいただく制度。



Ⓑ 特別口座に当社株式をご所有の株主さまへ

特別口座は、証券会社の口座とは異なり、ご所有の株式を、ご家族へ譲渡(名義書換)したり、証券市場で売却したりすることができます。譲渡や売却をご希望の場合は、あらかじめ証券会社に株主さまご本人名義の口座を開設し、特別口座から証券会社の口座へ株式を振替える必要があります。株式の振替が完了した後に、譲渡や売却のお手続きが可能となります。

※ 証券会社での口座開設、譲渡および売却のお手続きにつきましては、証券会社へお問い合わせください。

■特別口座とは…

平成21年1月実施の「株券の電子化」に伴い、それまでに証券会社の口座にお預けになっていたい株主さまの当社株式を管理するために、当社が三井住友信託銀行に開設した口座です。

ⒶⒷⒸのお手続きのお問い合わせ先

〈証券会社に口座を開設されている株主さま〉

口座を開設された証券会社にお申出ください

〈特別口座をお持ちの株主さま(証券会社に口座を開設されていない株主さま)〉

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお申出ください

0120-782-031

◎ 配当金を「配当金領収証」でお受け取りの株主さまへ

■配当金のお受け取り方法を口座振込にすることができます。

配当金を郵便局等にお受け取りに行く必要がなく、また、お受け取り忘れの心配がありません。(※)

口座振込には以下3つの方法があります。是非ご利用ください。

※配当金領収証に記載された支払期間(支払開始日から約1か月間)が過ぎた場合は、お受け取りに別途手続きが必要になります。

- ①ご所有の銘柄ごとに銀行等の口座を指定し配当金を受け取る方法《個別銘柄指定方式》

当社の配当金 → A銀行

X社の配当金 → B銀行

※ 銘柄ごとにお手続きが必要です。

- ②ご所有のすべての銘柄の配当金をあらかじめご指定いただいた1つの銀行等の口座で受け取る方法《登録配当金受領口座方式》

当社の配当金 → A銀行
X社の配当金 → A銀行

※ 1つの銘柄について手続きを行えば、自動的に他の銘柄にも適用されます。

※ ゆうちょ銀行の口座は指定できません。

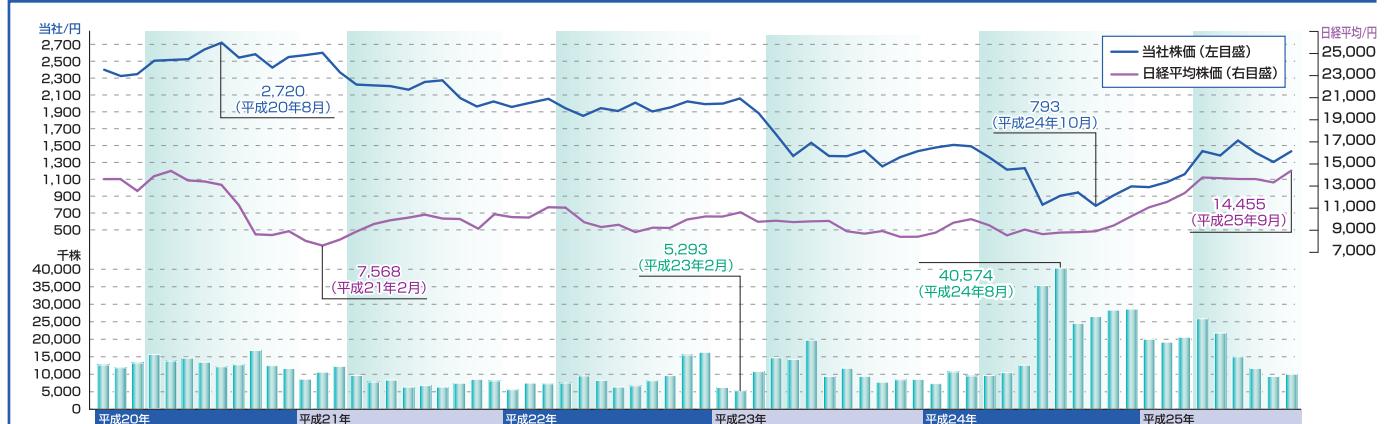
- ③お取引の証券会社の口座で配当金を受け取る方法《株式数比例配分方式》

300株分 → C証券 300株所有
当社の配当金 →
500株分 → D証券 500株所有

※ 複数の証券会社に分散してご所有の場合は、証券会社ごとのご所有株式数に応じた配当金がそれぞれの口座に入金されます。

※ 特別口座に株式をご所有の場合は、この方法はご利用になれません。

■当社株価(月末終値)および出来高の推移



株主information

会社概要

(平成25年9月30日現在)

■設立年月日	昭和26年5月1日
■資本金	1,176億4,154万9,080円
■発行可能株式総数	4億株
■発行済株式総数	2億1,033万3,694株
■販売区域	富山県、石川県、福井県(一部を除く)、岐阜県の一部
■従業員数	4,697名(出向者等を除く)
■供給設備	
○発電所	
水力	129か所 出力／191.2万kW
火力	6か所 出力／440.0万kW
原子力	1か所 出力／174.6万kW*
新エネルギー	7か所 出力／0.9万kW
計	143か所 出力／806.8万kW
※：志賀2号機において、整流板を設置して運転の場合	
○送電線	電線路こう長 3,316km
○変電所	200か所 出力／2,957万kVA
○配電線	電線延長 12万1,589km

■主要事業所	
本店	富山市牛島町15番1号
地域共生本部	金沢市下本多町六番丁11番地
原子力本部	石川県羽咋郡志賀町高浜町二13番地21
富山支店	富山市牛島町13番15号
高岡支社	高岡市広小路7番15号
魚津支社	魚津市新金屋一丁目12番12号
石川支店	金沢市下本多町六番丁11番地
七尾支社	七尾市三島町61の7
小松支社	小松市栄町25の1
福井支店	福井市日之出一丁目4番1号
丹南支社	越前市新町10字東野末1の6
東京支社	東京都港区虎ノ門二丁目8番1号 虎の門電気ビルディング6階

株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	6月
●配当金の 受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
●単元株式数	100株
●証券コード	9505
●公告方法	電子公告により、当社のホームページに 掲載して行います。 (http://www.rikuden.co.jp/)

●株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〔郵便物ご送付先〕 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔お問い合わせ先〕 ☎ 0120-782-031
〔ホームページ〕 <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関するお手続きおよびお問い合わせ先について

<証券会社に口座を開設されている株主さま>
口座を開設された証券会社にお申出ください
<特別口座をお持ちの株主さま(証券会社に口座を開設されていない株主さま)>
三井住友信託銀行 証券代行部にお申出ください



〒930-8686 富山市牛島町15番1号
電話 076-441-2511(代表)
<http://www.rikuden.co.jp/>
発行／総務部株式チーム 平成25年11月

